

名家連ニュース

令和 3 年 7 月 8 日 (木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 812 号

冊子紹介☞「改革が避けられない日本の精神医療」

精神医療改革(政策転換)の“チャンス”

先進諸国では、抗精神病薬の使用によって入院中心から地域ケア中心の精神医療へ政策転換を開始しました。日本だけがこの流れに乗れないまま今日に至っています。

先進諸国から半世紀の後れをとりましたが、入院中心に替わる地域ケア中心の精神医療政策への政策転換が避けられなくなっています。精神科病院の“崩壊の危機”は精神医療の“崩壊”ではありません。精神医療改革(政策転換)の“チャンス”です。

知られていない精神医療の新しい情勢(当面の最大課題)

地域ケア中心の精神医療への政策転換が避けられること、改革が可能であることが国民に広く知られていません。精神科病院の“崩壊の危機”を精神医療改革(政策転換)の“チャンス”に転換し、精神医療の新しい展望を切り拓くために、みんなで考えませんか。

著者 氏家憲章氏 (A4版25頁)330円税込

氏家憲章氏のプロフィル ☞ 詳しくは、下記のURL(ビデオ)を是非ご覧ください。

[改革が避けられない日本の精神医療 -1 - Bing video](#)

氏家憲章氏は「こころの健康構想実現会議事務局」のメンバーとして、東京医科学研究所の西田淳志先生や「やどかりの里」の増田一世さん等と共に全国運動の構築に尽力されました。

名家連においても「金山」や「栄」の繁華街で街頭署名を取り組んだり、市議会各会派を訪問して「意見書」の採択や国会議員への紹介議員要請を行ってきました。伊勢田先生、西田先生、増田さん、氏家さんには、名古屋にお招きして講演していただきました。

精神疾患対策基本法の制定を求めた全国運動は、家族会を内向きの組織から社会に働きかける組織へ、家族も内なる偏見を乗り越える大きな契機となりました。全国署名60数万、意見書も国民の7割を超える地方自治体で採択、家族会も底力を発揮しました。

基本法制定には至りませんでしたが、全国運動に参加した家族会・家族は確かな手応えを実感し、現在の交通運賃割引全国運動へと引き継いでいきました。

コロナ禍で自粛生活を余儀なくされている現在、日本の精神科医療について一緒に考えていく機会にしましょう。

名家連では、25冊注文して名家連役員及び家族会会長へ配布する予定です。 (記事/事務局・6月7日役員会確認事項)

